

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

看護師と養護教諭の両方の資格がとれる大学を探していた時、友達から同志社女子大学をおすすめされ興味をもつようになりしました。夏のオープンキャンパスに参加した際、学生やキャンパスの明るく和やかな雰囲気、実習棟の整った設備に魅了され、同志社女子大学で学ぼうと決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

7月まで部活動があったので基本的には毎日の授業に集中して取り組みました。また私は1・2年生の頃、定期テストの勉強しかしていなかったため、少しずつ少しずつ自宅で机に向かう習慣をつけるようにしました。

〔夏休み〕

夏休みの始めに、同志社女子大学の過去問題を解き、自分の実力差や弱点を把握させました。私は圧倒的に英語が力不足だったので夏休みは英語に重点をおいて勉強しました。1つの単語帳と文法書をくり返しくり返し勉強しました。他の科目も基礎固めに徹しました。受験勉強をする中で、基礎をしっかりとすることは重要だと思っています。だから時間がかかってもじっくり取り組むことをおすすめします。

〔2学期～入試直前〕

夏休みの基本的な勉強を継続してからは応用問題にも取り組むようにしました。またこの時期から模試やセンターパックが学校で毎週のように行われたのでその復習を必ずやりました。そして12月の中旬から過去問題集を解き始めました。間違えたところは理解するまで考えたり、先生に質問するようになりました。また間違えたところだけでなくその関連した部分も併せて確認するようにしました。

私の高校は365日休まずに先生方が学校を開校してくださったので、私は毎日学校の自習室で勉強していました。いつも真剣に机に向かっている仲間の方を見て自分も頑張ろうと思えました。

勉強方法は様々ありますが、私は1つの教材を何度も何度も勉強することをおすすめします。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私にとって部活動の存在は大きく、最後まで全力を注ぎました。そのおかげで受験勉強も頑張れたと思います。学校行事はリフレッシュだと思って思いっきり楽しめました。私は定期テストで悪い成績をとるとすぐストレスになるので定期テスト勉強もしっかりしていました。また、受験生活を送る中で「スマートフォンやテレビは1日7時間以内にとする」とか「その日のうちに寝てしっかり睡眠をとること」など自分に合ったルールを決めるようにしました。健康面についてですが、私は11月頃に風邪をひいてしまい思うように勉強ができません、とてもストレスになってしまったので、健康管理はとにかく大切だと思っています。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

なかなか成績が伸びず辛かったり、焦ったりする時もあると思いますが毎日コツコツと勉強を続けることが大切です。勉強の質もとても重要ですがとにかく勉強したかという量は自信につながると思います。私は毎日勉強の記録をつけていて、入試本番にそのノートを見て「これだけやったから大丈夫!」と思えました。最後になりますが、なによりも自分は同志社女子大学で学びたい!という気持ちを持ち続けてください。応援しています。